



特集 結城という選択

移住という選択

子育てしやすく、人のあたたかさを感じるまち



夫の転勤をきっかけに、7年前に結城市へ移住してきました。初めて暮らす土地でしたが、住めば住むほど地域の伝統文化や四季折々のイベントに触れ、活気のあるまちだと感じるようになりました。

子育ての視点から見ると、市内には散歩にぴったりの公園が多く、小さな公園からけやき公園のような広い場所まで、日常のなかで自然に触れることができます。交通の便も程よく、緑も多いこのまちは、子育てにも生活にもバランスの取れた環境だと思います。



中森 理恵さん
(移住歴 7年)
—PROFILE—
平成30年に滋賀県から移住

人のあたたかさも魅力の一つ。移住者だからと壁を作られることもなく、優しく声をかけてくれる方や、すぐに打ち解けてくれる方が多い印象です。ちょっとした気遣いや、親しみやすい雰囲気があたたかく、その空気感が結城らしさなのかもしれません。

また、地元で採れた新鮮な野菜やお米が手に入りやすい点も、日々の暮らしに安心感を与えてくれます。市や民間の子ども向けイベントも多く、遠くに出かけなくても、子どもと一緒に経験できる機会が多いこともうれしいポイントです。

特に子育て支援センター「ゆいゆいぱーく」には本当にお世話になっています。親同士のつながりが自然に生まれ、心の支えにもなります。子どもと遊ぶだけでなく、親自身がリフレッシュできる場所として、ぜひ訪れてほしいと思います。



ゆいゆいぱーく (結城市子育て支援センター)

— わたしと結城の物語 —

地域コーディネーターという選択



結城での暮らしを、ありのまま伝えたい



地域コーディネーターとして、私は移住希望者の相談対応やまち歩きのご案内、市内イベントの企画・運営などを行っています。単なる「案内人」ではなく、結城で暮らすことをリアルにイメージしてもらえそうな、丁寧な対話と関係づくりを心がけています。

案内の際に大切にしているのは、結城の“ありのまま”を伝えること。観光スポットだけではなく、昔ながらの店や、静かだけど味わいのある町並み、日々の暮らしの空気感をそのままお見せしています。私自身が実際に住んでいて感じる「好きな結城」を、移住希望者の方にも共有できたらと思っています。

この仕事に就くきっかけは、貸切宿「HOTEL (TEN)」の女将募集でした。小学生の頃に参加した「結い市」が楽しかった記憶がずっと残っ



貸切宿HOTEL(TEN) お試し移住など、移住定住企画の会場にも使われる。

ていて、いつか運営に関わりたいと思っていました。その後、「結いのおと」に参加した際にメールマガジンを登録し、女将募集の記事を見つけて応募しました。

今は、一般社団法人MUSUBITOの一員として、地域イベントの裏側に関わる立場にもなりました。地道な準備が多く、成果がすぐ見えないこともありますが、結城の未来につながる“きっかけづくり”を担っているという誇りを持っています。移住者と地域を結ぶ存在として、これからも人とまちをつなぎ続けていきたいです。



松田 美幸さん
地域コーディネーター
—PROFILE—
令和6年4月からHOTEL(TEN)の女将として一般社団法人MUSUBITOに参加し、まちおこしイベントなども開催している。

移住・定住支援の取組 (令和7年8月1日現在)

問 市企画政策課 TEL 34-0404

ふるさと結城同窓会 開催支援補助金

若者の同窓会開催を支援。地元の良さを再発見し、Uターンを考えるきっかけに!



ひとり当たり
最大2,000円 補助
(一団体上限10万円)



わくわく茨城生活実現 事業移住支援金

東京23区の在住者・通勤者が移住し、要件に該当する場合、世帯100万円、単身60万円の支援金を支給します。



育児コミュニケーションマガジン 「Yui fam.」

子育て世代のコミュニティの輪を拡大。市民エディターがリアルな情報をお届け!



お試し移住体験

移住後の生活環境や資源に触れる1泊2日の移住体験プログラムを提供します。



地方就職支援金

東京都内の大学・大学院の学生が、結城市で就職する場合の交通費を補助します。



地域おこし協力隊

都市部から移住して地域課題に取り組む人材を募り、定着を支援!



結城市移住ガイドブック



移住を検討している方
向けの情報が満載!



移住者向けサイト
「NEWLOCAL結城」

